

平成22年2月の結果 (二人以上の世帯)

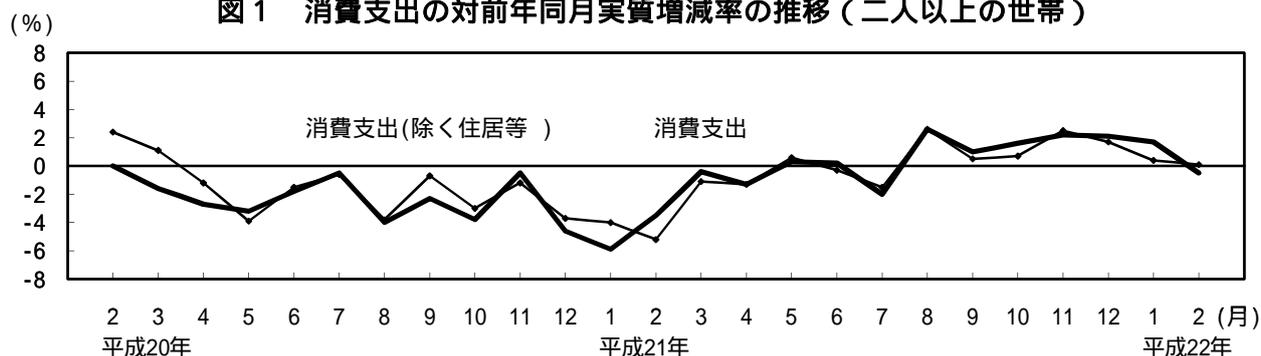
二人以上の世帯

消費支出は、1世帯当たり	261,163円		
前年同月比	実質0.5%の減少 名目1.8%の減少	前月比(季節調整値)	実質1.6%の減少
消費支出(除く住居等)は、			
前年同月比	実質0.1%の増加 名目1.2%の減少	前月比(季節調整値)	実質0.7%の減少
うち勤労者世帯の実収入は、		うち勤労者世帯の消費支出は、	
前年同月比	実質1.3%の増加 名目0.0%	前年同月比	実質2.2%の減少 名目3.5%の減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

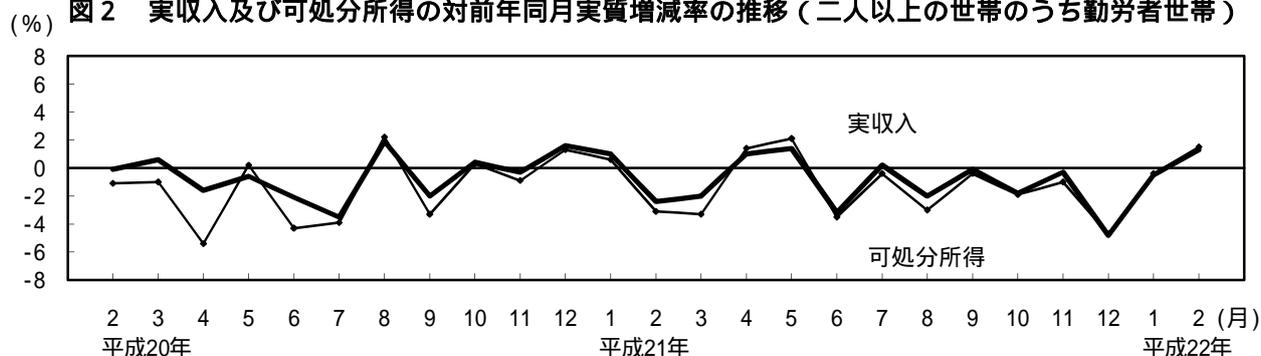
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	平成21年												平成22年	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
消費支出	-3.5	-0.4	-1.3	0.3	0.2	-2.0	2.6	1.0	1.6	2.2	2.1	1.7	-0.5	
消費支出(除く住居等)	-5.2	-1.1	-1.3	0.6	-0.3	-1.5	2.6	0.5	0.7	2.5	1.7	0.4	0.1	

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入及び可処分所得の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	平成21年												平成22年	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
実収入	-2.4	-2.0	1.0	1.4	-3.2	0.2	-2.0	-0.1	-1.8	-0.3	-4.8	-0.5	1.3	
可処分所得	-3.1	-3.3	1.4	2.1	-3.5	-0.4	-3.0	-0.4	-1.9	-1.0	-4.7	-0.4	1.5	
消費支出	-1.0	0.7	0.4	1.8	-0.9	-1.6	1.2	0.6	0.6	0.1	0.1	1.5	-2.2	
平均消費性向	1.6	3.7	-1.0	-0.3	1.4	-0.9	3.5	0.8	2.0	1.0	2.3	1.7	-2.8	

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成22年2月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	261,163	-1.8	-0.5	-0.5		7か月ぶりの実質減少
食 料	61,226	-0.8	0.6	0.14	<増 加> 調理食品,魚介類など	3か月連続の実質増加
住 居	14,581	1.3	1.8	0.10	<増 加> 設備修繕・維持など	2か月連続の実質増加
光 熱・水 道	26,593	-4.8	0.2	0.02	<増 加> 電気代,上下水道料など	2か月連続の実質増加
家具・家事用品	7,895	11.9	18.2	0.48	<増 加> 家庭用耐久財,家事サービスなど	5か月連続の実質増加
被服及び履物	9,325	5.0	6.1	0.20	<増 加> 和服,洋服など	2か月ぶりの実質増加
保 健 医 療	11,767	-1.2	-0.2	-0.01	<減 少> 保健医療サービスなど	2か月連続の実質減少
交 通・通 信	35,318	-4.7	-6.3	-0.87	<減 少> 自動車等関係費,交通	3か月ぶりの実質減少
教 育	11,727	-6.1	-6.7	-0.31	<減 少> 授業料など	2か月連続の実質減少
教 養 娯 楽	27,458	-0.9	1.7	0.18	<増 加> 教養娯楽用耐久財など	8か月連続の実質増加
その他の消費支出	55,273	-2.9	(-1.6)	(-0.35)	<減 少> 贈与金,諸雑費など	3か月連続の減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

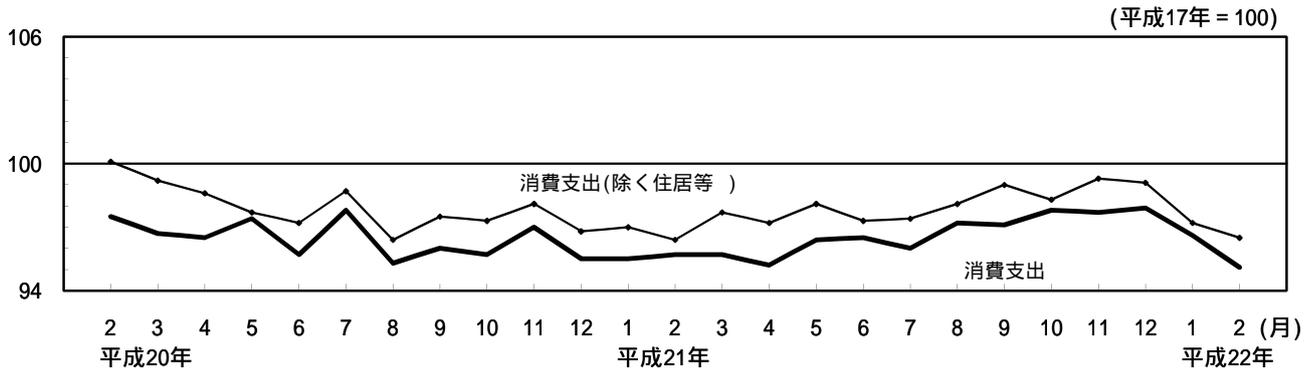
注2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類	実質寄与度			品 目
< 減少項目 >				
自動車等関係費	[-0.76]		自動車購入, ガソリン
諸雑費	[-0.38]		葬儀関係費, 信仰・祭祀費
授業料等	[-0.37]		幼稚園, 国公立大学
保健医療サービス	[-0.16]		医科診療代, 歯科診療代
交通	[-0.14]		鉄道通勤定期代, 鉄道運賃
< 増加項目 >				
教養娯楽用耐久財	[0.42]		テレビ, ビデオデッキ
家庭用耐久財	[0.35]		エアコンディショナ, 電気冷蔵庫
医薬品	[0.11]		
和服	[0.10]		婦人用帯, 婦人用着物
設備修繕・維持	[0.09]		外壁・塀等工事費

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）



	平成21年												平成22年	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
消費支出	95.7	95.7	95.2	96.4	96.5	96.0	97.2	97.1	97.8	97.7	97.9	96.6	95.1	
対前月変化率(%)	0.2	0.0	-0.5	1.3	0.1	-0.5	1.3	-0.1	0.7	-0.1	0.2	-1.3	-1.6	
消費支出(除く住居等)	96.4	97.7	97.2	98.1	97.3	97.4	98.1	99.0	98.3	99.3	99.1	97.2	96.5	
対前月変化率(%)	-0.6	1.3	-0.5	0.9	-0.8	0.1	0.7	0.9	-0.7	1.0	-0.2	-1.9	-0.7	

注 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成22年2月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	備考
		名目	実質		
実収入	464,866	0.0	1.3	1.3	7か月ぶりの実質増加
世帯主収入	353,048	-1.2	0.1	0.08	2か月連続の実質増加
定期収入	349,983	-1.5	-0.2	-0.14	2か月ぶりの実質減少
配偶者の収入	49,905	0.3	1.6	0.17	3か月ぶりの実質増加
うち女性	49,264	-0.2	1.1	0.11	3か月ぶりの実質増加
他の世帯員収入	6,993	-17.6	-16.5	-0.30	13か月連続の実質減少
非消費支出	73,825	-0.7	-	-	3か月連続の減少
可処分所得	391,042	0.2	1.5	-	9か月ぶりの実質増加
消費支出	285,211	-3.5	-2.2	-	7か月ぶりの実質減少
平均消費性向(%)	72.9	(前年同月) (ポイント差)			季節調整値で見ると、72.2%で、前月に比べ、1.3ポイントの低下となった。